

やさしい街・立川にチャレンジ!

原点は立川高校の授業

私が、生きづらさを抱える人たちのために生きようと心に誓ったのは、立川高校の時でした。高校生活で生きる意義について悩んでいるときに、授業で南北問題や貧困問題、児童労働問題などについて知り、「これでいいのだろうか」「ほっとけない」「将来は困っている人たちのために生きよう」という思いが込み上げてきました。

寄りそう気持ちはだれにも負けない

私の志の原点となった立川の地から、不安と孤立に追い込まれずに、誰もが安心して暮らせる社会を作ることには挑戦しようと思いました。強いリーダーに頼るのではなく、生きづらさを抱えた人に寄り添い、みんなで一緒に変えていくきっかけを作りだす役割を果たしたいと思います。立川市は全国でもトップレベルで財政豊かな自治体です。その豊かさを活かすことで、「もっと!やさしい街・立川」は、可能だと確信しています。と一緒に。

誰もが不安を抱えている時代

サラリーマンとして社会人生活を始めて4年、私の身の回りでも生きづらさや不安を抱えている人たちが、ますます増えていると感じます。自身の身近な友人でも過労でつぶれてしまった人、派遣社員で給料が伸びない人、精神疾患にかかった人、子どもができたけど入れる保育園がなくて困っている人、ゲイであることをカミングアウトしてくれた人がいます。「不安」や「生きづらさ」というと弱者や少数者を連想しがちですが、現代社会においては誰もが少なからず「不安」や「生きづらさ」を抱えていると痛感しています。

山本ようすけ
27歳

ミニ情報
性格:穏やかでまっすぐ
困っている人をほっとけない
背は低いけど志は高いつもり

無所属

27歳の挑戦

山本ようすけ

6月17日は
立川市議選の投票日

yamamoto-yosuke.com
山本ようすけ 立川 で検索!

立川を、もっと!やさしい街に

立憲民主党のボトムアップの政治に共感!

「市民と立憲民主党の大対話集会」に参加しました

枝野幸男代表や菅直人元首相も参加

1月28日に「市民と立憲民主党の大対話集会」に行ってきました!市民が主催して呼びかけた対話集会で、代表の枝野幸男さん、元首相の菅直人さんをはじめ立憲民主党の国会議員が14人も参加した集会です。私は党員やパートナーになっているわけではありませんが、理念として掲げている「草の根民主主義」というボトムアップの考え方や、以下の5つの国民との約束についても私の考えと深く通じるものがあります。

- 1 生活の現場から暮らしを立て直す
- 2 1日も早く原発をゼロへ
- 3 個人の権利を尊重し、ともに支え合う社会を実現する
- 4 徹底して行政の情報を公開する
- 5 立憲主義を回復させる

若者政策について提言しました

また、第二部では若者の政治参加について発言させていただきました。私は社会人になって4年になるのですが、同世代の友人の中には非正規雇用で低賃金に苦しんでいる人、過労で鬱病になってしまった人、奨学金の返済に苦しんでいる人が身近に少なからずいます。本当に生きづらさというのが若年世代に蔓延しつつあると実感しています。そんな余裕のない状況の中で、当事者たちとしては政治なんかに関心を払う余裕なんてないという人が多いように思います。

普段、駅前でニュースをお配りしていても、若い人たちはなかなか受け取ってもらえません。若者たちに政治に関心を払ってもらう、参加してもらうには工夫が必要です。若者に関する政策や政治参加の在り方については今後も考えてゆきたいと思います。



5.20 講演会

時間 13:30~16:00
場所 アレアホール(立川駅南口すぐ)

反貧困・核兵器廃絶のテーマで講演会を開催

ノーベル賞受賞のNGO



川崎 哲

かわさき あきら

ピースボート共同代表。
核兵器廃絶国際キャンペーン(I・C・A・N)国際運営委員。著書に『核拡散 軍縮の風は起こせるか』岩波新書など

20万部のベストセラー



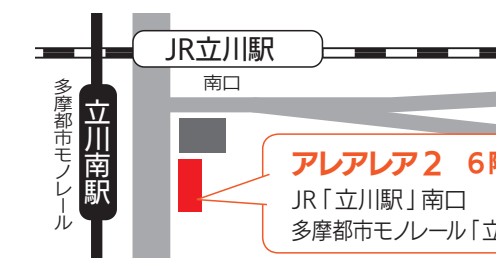
藤田孝典

ふじた たかのり

NPO法人ホットプラス代表理事。
反貧困ネットワーク埼玉代表。著書に『下流老人』(朝日新書)、『貧困世代』(講談社現代新書)など

もっと安心!ずっと平和 in 立川

6人に1人が貧困と言われる時代、北朝鮮をめぐる核兵器問題が緊迫化している現状、解決が迫られる2つの重要テーマで講演会を開催します。20万部のベストセラーとなった『下流老人』の著者の藤田孝典さん、ノーベル賞を受賞した核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)国際運営委員の川崎哲さんの講演です。立川の安心、平和を考える上でも非常に有意義な講演会になると思います。是非ご参加ください!



連絡先 〒190-0011 立川市高松町3-13-1-403号室

TEL: 080-5650-7833

MAIL: t.yamayou@gmail.com

公式ホームページ

yamamoto-yosuke.com

会員募集中 カンパにご協力をお願いします

郵便振替口座: 00180-4-487440

口座名: やさしい街 立川をつくる会

1 誰もが安心して暮らせる やさしい立川

提 案

- 学校給食における質の向上や負担軽減、地元食材の活用促進
- フードバンクや子ども食堂の拡充
- 空き家を借り上げ、手入れをして公営住宅・コミュニティスペースとして利活用
- 交通弱者へのオンデマンド交通の実現
- 国民健康保険料金の負担軽減

3 みんなで一緒に 未来を決める立川

提 案

- 大事なことはみんなで決める！住民投票条例の制定
- 市民が決める参加型予算の創設
- 市民に開かれた議会への改革
定例会ごとの議会報告会の開催
- 議員報酬を決める審議会への市民公募

あなたと一緒に 立川をやさしい街へ

2 多様性にあふれる 誰もが生きやすい立川

提 案

- 「障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例」の積極活用
- 同性パートナーシップの確立
- 発達障害児に対する学習支援の拡充
- 地域に一人暮らしの人や高齢者が集まれる居場所やコミュニティ形成の促進
- 待機児童の解消と子育て支援の拡充
- ヘイトスピーチ禁止条例の制定

4 平和と安全を 大切にする立川

提 案

- 9条の改悪に反対する政府への意見書の提出
- 核兵器禁止条約参加を求める政府への意見書の提出
- 横田基地へのオスプレイ配備に反対
- 集中豪雨による洪水・冠水対策の拡充
- 放射線測定の継続（保育園・学校給食）



陳情前に立川市役所の前で（3月2日）

行 動

「核兵器禁止条約への参加」を 求める陳情を立川市議会へ提出

核兵器禁止条約に日本政府が参加することを求める陳情を立川市議会に提出し、3月2日に総務委員会で審議していただきました！

私も総務委員会に出席し、陳情の趣旨説明を行いました。説明の後、大沢ゆたか議員からは賛成の意見表明がありましたが、残念ながら他の議員からの意見表明や質問、そして議員間の議論がないにもかかわらず、すぐに「継続審査か採決か」となっていました。その結果、自民党や公明党の多数によって、「継続審議」となりました。非常に残念な結果ではありますが、引き続き核兵器廃止条約への参加を求めています。

プロフィール

山本ようすけ 27歳



1990年 武蔵村山市に生まれる。
1999年 稲城市に引越。
2006年 立川高校 入学。文化祭のクラスの出し物のリーダーを担当。部活は美術部と山岳部に所属。
2009年 立川高校 卒業。立川の予備校で浪人生活を送る中、駅前でビッグイシュー販売者と知り合い、ボランティアを始める。
2010年 一橋大学 社会学部 入学。貧困問題を主軸としつつもジェンダー、心理学、歴史、貧困、哲学、経済学、政治学等にも触れる。様々な業界を見聞すべくアルバイトは駅員、ホテルスタッフ、コンビニ店員、倉庫作業、試験監督など数多く経験。
2014年 一橋大学卒業。外資系コンサルティング会社に就職。官公庁での政策立案や調査事業を手がける他、民間企業の業務改革等にも従事。

趣味：読書、歴史、美術館・博物館めぐり、旅行、映画鑑賞、登山、家庭菜園、街歩き